

海運＜経営・全般＞

2019年10月10日

《連載》再考・海事都市シンガポール⑫ まだ序章、星港の発展は続く マリーナベイシッピング、福島謙治MD



旧住友銀行、伊藤忠商事、三徳船舶で海運ビジネスの経験を積んだ福島謙治氏がマリーナベイシッピングを星港に設立したのが2014年。新造船の仲介業から始め、現在では大手船舶管理会社の営業受託やファイナンス・アレンジなど多様な業務を手掛ける。

一起業の地として、なぜシンガポールを選択したのか。日本ではなかったのか。

「シンガポールの経済成長がメリットと感じた。最近、成長率は徐々に下がっているのかもしれないが、発展に向けた気概を感じるし、今後も躍進は続くだろう。一方、日本には同様の成長を感じられず、パイの取り合いになっている。となると、資本力のある人が勝つシステムになってしまい、成長余地が限られる。かつて日本企業が高度成長と共に発展したことを考えると、成長余地が

少ない国で起業しても難しい、というのが僕の考えで、シンガポールには日本とは違うチャンスがあると考えた」

「アグレッシブで前向きな話ができる人が多いことも魅力だ。日本から来た20代、30代の若者などは、自信をもってシンガポールに出てきて、ここで何かをやり遂げよう、ここでどうにか生きていこう、という気概にあふれている。多様な業界の方と縁があるが、どの人も一様に前向きな姿勢を持っており、彼らと話すだけで活力がもらえる」

— シンガポールにおける海事関連産業の進出状況はどうか。

「日本企業の進出は止まったが、海外勢はそうでもない。海外の用船者などはむしろ増えていると感じる。ただ、昔のように税制メリット狙いのフリートごと移すような派手な企業は希少に感じる。新たに少人数で活動を開始する企業が増えている印象だ。当社は人と人をつなぐ商売なので、地の利は間違いなくここにある。海運の情報や人脈など、アジアではベストと感じている」

— 税制のメリットはあるのか。

「保有船事業を行う別会社があり、そちらではもちろん税制メリットを享受している。一方、主体となるマリーナベイシッピングはシンガポール税制に則り少額ながら納税している。シンガポール政府は、海運分野の投資に対して極めて積極的であり、多くの税金が海運分野の発展に使われている。そう考えるならば、納税する価値は相対的に高いと考える」

— シンガポール拠点のデメリットは。

「あまりないが、不動産は高い。オフィスの賃料は東京とあまり変わらないが、住居家賃が高い。家賃が高い分、法人税が安いので、そこは相殺できる、という考え方もできるが」

— シンガポール政府に対する評価は。

「評価というよりも、住んでいて思うことを述べたい。まず、シンガポール人は愛国心が強い。独立記念日などはみなでお祝いする。国民が非常に自分の国を愛しているし、自分の国をよくしようと思っている。政府が評価されているということだろう。不満は、我々のような外国人が、ローカル企業の人々と接する機会が少ないこと。正直、現地の企業とはかなり距離感がある。政府主導で、我々のような外国出身の起業家と、ローカルの人々が交流できるようなイベントを開催してほしい」

— 今後、シンガポール拠点は拡大していくのか、現状維持か。

「向こう5年ほどは現状維持と考えている。現在は7人体制だが、若い社員が入社したこともあり、今は増員よりも一人ひとりの能力アップを図りたい。当社はシンガポールに根差そうと思っており、事業も拡大路線でいきたい。そのためには今後、ローカルスタッフと一緒にやっていく環境づくりが大切だと考えている。当社の課題であり、事業を拡大していけるかどうかの鍵になる」

— 海事センターとしてのシンガポールの将来性は。

「今はむしろ序章に過ぎず、まだまだこれからだと思っている。シンガポールは、必ずアジアのさらなる先進都市になると感じている。若い人も含めて、英語を扱えるなど教育水準も非常に高い。いろんな可能性を持つ国だと思っている。チャンスを生かすも殺すも、そこに根差すわれわれ次第だ」

(聞き手：中村直樹)

関連記事

- [《連載》再考・海事都市シンガポール⑪、MOLタンクシップ・マネージメント・アジア 太田敏彦社長](#)
- [《連載》再考・海事都市シンガポール⑩、伊予銀行、佐賀山隆支店長](#)
- [《連載》再考・海事都市シンガポール⑨、NYKバルクシップアジア、岸 剛史マネージング・ダイレクター](#)
- [《連載》再考・海事都市シンガポール⑧、JERAグローバル・マーケッツ 葛西和範CEO](#)
- [《連載》再考・海事都市シンガポール⑦、“K”Line Pte Ltd、橋爪亮社長兼CEO](#)
- [《連載》再考・海事都市シンガポール⑥、MOLシップ・マネージメント・シンガポール、関根隆司MD](#)
- [《連載》再考・海事都市シンガポール⑤、青山総合会計、長縄順一MD](#)
- [《連載》再考・海事都市シンガポール④、ケイライン・シップマネージメント・シンガポール、岡田全功MD](#)
- [《連載》再考・海事都市シンガポール③、スプリングライナー、饗場拓也社長](#)
- [《連載》再考・海事都市シンガポール②、NYKシップマネージメント・中矢眞央会長CEO](#)
- [《連載》再考・海事都市シンガポール①、MOLケミカルタンカー 渡邊律夫社長](#)
- [星港、日系海事企業数は安定推移](#)

海事プレスに掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

© Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.